

第40回 千葉県実業団弓道大会の報告

平成24年10月31日

千葉県実業団弓道連盟

会長 柳川 正行

昭和48年に第一回大会が開催されて以降、今年で40回目の節目となった当大会は10月14日県内企業29チーム94名の参加を得て天台弓道場で開催された。

一般の大会と異なり、点数制であることから、団体トーナメントにおいては1本毎的の中に観客も一喜一憂し、楽しくもあり、激しい戦いとなり、団体はJDE(ジャパン・ディスプレイ・イースト(旧日立ディスプレイ))が8年ぶり2度目、個人最高得点賞は歴代二位の47点を獲得した熊原敦史選手(教職員)が初の栄冠に輝いた。

当日は初冬を思わせる肌寒い日であったためか、各チームとも得点が伸びず、予選1回目は50点越えがなく、三井化学Bの47点が最高でそれに続きJDEが32点であった。午後の予選2回目は若干気温も上がったことから午前中に比べ点数も伸び、NTT東日本Aが53点を獲得し合計84点でトップ通過を果たした。

予選通過16チームの顔ぶれは常連の新日鐵住金(10月1日の合併で「新日鐵」から社名変更)が4チーム、NTT東日本、JFEが各2チームが進出したのに加え、個人事業所チームのフラワー・カエラスンチームや田辺建設チームが奮闘し予選を勝ち抜いた。団体トーナメント抽選では確率の「いたずら」といふべきか、新日鐵住金4チームが同一ブロックでかつ一回戦で対戦、JFEも一回戦で対戦するという同一企業チームが初戦からつづし合いをする結果となった。

トーナメント一回戦は予選通過一位のNTT東日本A、二位の三井化学Bがともに敗戦し、又、昨年の覇者である出光千葉が2回戦で敗退する波乱があり、その後の混戦を予想させる結果となり、激しいトーナメント戦が繰り広げられ、結果としてJDE(ジャパン・ディスプレイ・イースト)とフラワー・カエラスンチームが決勝トーナメントに勝ち進んだ。

決勝戦はフラワー・カエラスンチームが先行し、3本目までは確実に的中を重ね、得点を積み上げていたが大前の4本目の蹴り出しにより残り二人が動揺した(?)のかこれを境に形勢が逆転し経験に勝るJDEが最後の1本で高得点を重ね40点对36点の4点差で優勝の栄冠を勝ち取った。

【入賞者(敬称略)】

優勝: JDE Aチーム(南山義英、柴田倫秀、鈴木勝)

二位: フラワー・カエラスン(木村正、木村花恵、木村悦子)

三位: DIC (井上秀雄、中島義廣、林茂美)

個人最高得点: 熊原 敦史(教職員) 47点



<試合風景>

